

令和6年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
言語発達学		講義	平口 昌広	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
乳児期から学童期までの言語発達について学ぶ。言語発達が、運動や認知、対人関係といった様々な事柄がかかわることを捉え、言語発達の基本的な知識を修得する。ことばの側面から子どもの発達を捉え、言語発達の障害について理解を深める。				
授業の到達目標				
1. 乳幼児、幼児期、学童期の各段階の特徴を理解し、説明することができる。 2. ことばの発達を通して子どもの全体発達を捉えることができる。 3. ことばの発達と発達理論の関連を説明することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	ことばの発達とは ことばの話しはじめについて理解できる			
2	ことばの発達とは 言葉の発達の理論的基礎について理解できる			
3	前言語期 乳児期のコミュニケーションの発達① (6か月頃まで) を理解できる			
4	乳児期のコミュニケーションの発達② (1歳まで) を理解できる			
5	認知的基盤の発達① (ベイツ) の考え方を理解できる			
6	認知的基盤の発達② (ピアジェ) の考え方を理解できる			
7	幼児期前期 語彙の獲得について理解できる			
8	認知的基盤・コミュニケーションの発達について理解できる			
9	幼児期後期 語彙・構文の発達について理解できる			
10	語彙・構文の発達を振り返り理解できる (談話・音韻意識含む)			
11	VTRを見て幼児期までの発達を評価できる			
12	学童期 言語発達について理解できる			
13	読み書きの発達について理解できる			
14	発達に関するケーススタディの実践			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
入門コース・ことばの発達と障害1 ことばの発達入門	秦野悦子		大修館書店	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版	監修 藤田郁代		医学書院	
言語聴覚療法シリーズ2 改訂 言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎京子		建帛社	
自由記載				
備考				